

## 放課後子ども教室「アスク」

### ■水彩画体験（富川）

10月5日から7日、アスク（富川）「水彩画体験」が新光町生活館で開催され、3日間で51名の参加者が集まりました。

講師には苫小牧市より門別ことぶき学園専科「絵手紙」でも講師を務めている鈴木臣子氏を招き、水彩絵の具で絵手紙を書く体験を行いました。筆の一番上を持って線を書くなど普段と違った絵の描き方を教えてもらい、参加者はトマトやブドウなどといったモチーフを上手に描き上げていました。



### ■アート教室（門別）

10月20日、アスク（門別）「アート教室」が門別公民館で開催され、32名の参加者が集まりました。

町内在住の画家「千代 明」氏を講師に招き、自然の素材を使ったアートを教えていただきました。先日厚賀で開催した際と同様、石ころ、葉っぱ、枝などをダンボールに貼り付けて顔を作るという教室でした。

当日は天候に恵まれず屋外に出て素材を集めることはできませんでしたが、あらかじめ集めておいた素材の中から口に見えるもの、鼻に見えるものなどを探し出し、素晴らしい作品を完成させていました。



### ■木工（厚賀）

10月28日、アスク（厚賀）「木工」が厚賀コミュニティセンターで開催され、厚賀アスク登録者全員の15名が参加しました。

当日は新ひだか町「木工房よしの」の吉野健氏を講師に招き木でできた素材を使い”輪投げ”を作りました。

厚賀での木工教室は初めてでしたが、参加者はとても楽しそうに作業を行っており、完成後は時間いっぱいまでみんなで遊んでいました。





## 日高町合併10周年記念「高齢者大学交流会」(沙流川大学・門別ことぶき学園)

10月18日、日高町合併10周年を記念し日高地区・門別地区のそれぞれで活動している「高齢者大学」の交流会が国立日高青少年自然の家を会場に開催されました。

当日は、両大学から合わせて約50名が参加し、ピンポン球リレーや玉入れなどのレクリエーションや野外炊事(カレーライス)が行われ、それぞれ交流を深めていました。閉会式には、宮川教育長より「10周年を機に今後も交流を深めていきましょう」と挨拶がありました。

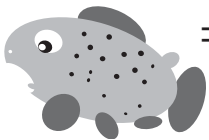


## 門別ことぶき学園第6回本科「修学旅行(函館)」

10月24日、25日、門別ことぶき学園の修学旅行が33名の参加で行われました。

1日目は、日高町より新函館北斗駅に向かい、今年3月に開業した北海道新幹線に乗車しました。木古内駅までの10数分でしたが、参加者は「速い」「静か」と感動していました。その後、函館市内の五稜郭公園を散策し、湯の川温泉で旅の疲れを癒しました。

2日目は、函館朝市と金森赤レンガ倉庫を散策し、ロープウェイで函館山に登りました。当日は天気も良く、参加者は長い時間、美しい函館の町並みや山並みを眺めていました。



## 『ルアーフィッシング教室 in 汐見』 終了!

10月13日・16日の2日間、『ルアーフィッシング教室in汐見』が開催され26名の子どもたちが参加しました。

初日は事前研修として魚や用具の知識、ルアーの投げ方などを学習し、最初は上手く投げることの出来なかった参加者も、回数を重ねるごときまっすぐ投げられるようになるなどどんどん上達していました。

迎えた本番当日は、気温も高く見事な秋晴れに恵まれた中、日高町に拠点を置く釣り会『TCD(トップキャスターズダービー)』の方々に優しく楽しみながらルアーフィッシングを教えてくださいました。

今年は昨年の成果を参考にむかわ町の汐見漁港での開催となり、参加者はTCDの方々に教わりながら思い思いにキャスト(ルアーを投げる)していました。

成果としてはウグイやカジカ、中には秋鮭を釣り上げる参加者も現れて、合計で18匹と予想以上の成果が見られました。

今回惜しくも釣れなかった参加者も『大きな魚が泳いでいるのが見えた』、『もう少しで釣ることができた』などと興奮気味に話している姿が見られるなど、思い出に残る秋の一日となりました。

